

「履歴書」の記載要領

1. 共通事項

提出書類は、ワープロソフトを用いて作成することとし、履歴書、業績目録は別添の様式に準じてA4版として下さい。なお、各欄のスペースは適宜調整して下さい。

2. 履歴書

(1) 年齢は、この履歴書の記入日現在における満年齢を記入して下さい。

(2) 学歴の欄には高等学校卒業以降の学歴を記入して下さい。

a. 医師免許を有する場合には、取得年月日と医籍登録番号を記入して下さい。

b. 学位の欄には学位名の次に当該学位を授与した大学名を（ ）内に記入して下さい。

例：昭和59年3月 県立〇〇高等学校卒業
昭和59年4月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成 2年3月 同上卒業
平成 4年4月 〇〇大学大学院医学研究科（〇〇系，〇〇学専攻）入学
平成 8年3月 同上修了

(3) 資格の欄には、学会専門医・指導医等の資格を記載して下さい。

例：平成15年 日本〇〇学会〇〇専門医（第〇〇〇〇号）

(4) 職歴の欄には、職歴のすべて（外国出張も含む）について記入し、職名もしくは身分も明記して下さい。職歴の欄が不足する場合は、別用紙（A4サイズ、各自で用意）に記載し、添付して下さい。

例：平成 2年5月 〇〇大学医学部附属病院，研修医
平成 4年4月 〇〇大学医学部附属病院，医員（〇〇科）
平成 8年4月 県立〇〇病院〇〇科，医員
平成10年4月 米国〇〇大学，〇〇研究所，特別研究員
平成11年4月 〇〇大学医学部，助手（〇〇講座）
平成16年4月 〇〇大学医学部，講師（〇〇講座）
平成18年4月 国立〇〇病院，〇〇科，医長
平成21年4月 〇〇大学医学部，准教授（〇〇講座）

(5) 学会及び社会における活動等の欄には、本人の専攻，研究分野に関連した事項，社会活動の事項及びその時期について記入して下さい。

例：平成10年4月～現在 〇〇学会会員
平成21年4月～現在 〇〇学会評議員

(6) その他の欄には非常勤職歴，その他の参考事項を記載して下さい。

例：平成16年4月～18年3月 〇〇大学医学部，非常勤講師
平成21年4月～23年3月 〇〇省〇〇委員会，委員

(7) 賞罰の欄には学会賞等を記載して下さい。ない場合は、「なし」として下さい。

例：平成22年6月 〇〇学会〇〇賞受賞

「研究業績」の記載要領

1. 論文発表

- (1) 共著の場合は、著者全員の氏名を記入し、本人の所に一重下線 (Corresponding Author の場合は二重下線) を引いて下さい。著書の分担執筆にあたっては、編集者名を記入して下さい。
- (2) 主要原著論文(10編)については、当該番号を○で囲み、Web of Science による最新の被引用件数を各論文の末尾に記載してください(下記の例を参照)。
- (3) 学位論文は当該番号を◎で囲んで下さい。
- (4) 記載は以下の区分に分類し、古い順に、著者名、論文名、雑誌(ないし出版社)、巻(ないし版)、頁～頁、年号を、以下の例にならって、記入して下さい。
- (5) Index Medicus に収録されている欧文医学雑誌に関しては、略名を使用願います。
- (6) 欧文総説、欧文原著及び欧文症例報告については、年号の後に Clarivate Analytics 社「Journal Citation Reports (2019年)」による直近のインパクトファクター(IF)を記入して下さい。
- (7) 印刷中の論文については、掲載証明書の写しを添付して下さい。

欧文著書

- 1 Yonago Y:
Carcinoid of the stomach.
In: Gastric cancer. Tottori T(ed) pp121-131
Springer-Verlag, Tokyo, 1993.

和文著書

- 1 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:
○○の臨床病理
○○の疾患, 竹山 登編. pp54-60, 第2版,
凸凹出版, 東京, 1992.

欧文総説

和文総説

欧文原著

- 1 Tottori H, Yonago Y, Nishi P, and Tanaka A:
Massive necrosis in human transplanted organ.
Clin Pathol 77:22-88, 2011. doi: 10.1145/clin.pathol.16322150.
IF=2.504
- ② Yonago Y, Satake G, and Sasaki H:
Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and
electron microscopic studies on 100 cases.
J Pathol 22:37-43, 2013. doi: 10.1590/j.pathol.2013.11, 028.
IF=11.95 (150件)

和文原著

- 1 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:
○○に関する臨床病理学的研究
○○会誌 44:21-26, 1988.

欧文症例報告

- 1 Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, and Tottori T:
A case of pulmonary artery hydatid cyst observed on MR imaging.
Am J Med Imag 34:325-329, 2010. doi: 10.1136/ajmi.2010.0003268.
IF=5.321

和文症例報告

- 1 鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

特異な経過を示した〇〇の一例
臨床生物 22:21-26, 1989.

その他
(研究報告書, 特許等)

2. 学会発表

(1) 国内学会発表は特別講演, 上級演題 (シンポジウム, ワークショップ等) のみ記載して下さい。

国際学会は一般演題も記載して下さい。

(2) 共同演者の場合は, 発表者全員の氏名を記入し, 本人の所にアンダーラインを引いて下さい。

国内学会
特別講演
1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:
〇〇の臨床病理
第54回日本〇〇学会, 東京, 4月, 1992.

上級演題

国際学会
特別講演
1

Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, and Tottori T:
Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical
and electron microscopic studies on 100 cases.
20th International Congress of Cancer Pathology, New York
August, 1989.

上級演題

一般演題

3. 科学研究費等研究助成金の交付実績

科学研究費等の交付実績について, 助成金の種類 (科学研究費補助金/厚生労働科学研究費補助金/その他) ごとに以下の内容を交付年度の古い順に記載して下さい。

- ①研究助成金の名称と種別, ②課題, ③交付年度,
- ④交付金額 (間接経費を含む総額。分担者の場合は, 実際の配分額を括弧書きすること。),
- ⑤代表者・分担者の別